令和８年度鎌ケ谷市政策評価（事後）報告書

１　はじめに

鎌ケ谷市では、平成１８年度に鎌ケ谷市行政評価実施要綱を制定し、行政評価を本格的に実施しています。

政策評価は、「基本計画を策定する時点で実施する事前評価」と「実施計画の２年度目が終了した時点で実施する事後評価」を実施すると、鎌ケ谷市行政評価実施要綱に規定しており、令和８年度は実施計画の２年度目が終了した年度であることから、この規定に基づき評価を行いました。

本報告書は、この政策評価について、概要をとりまとめたものです。

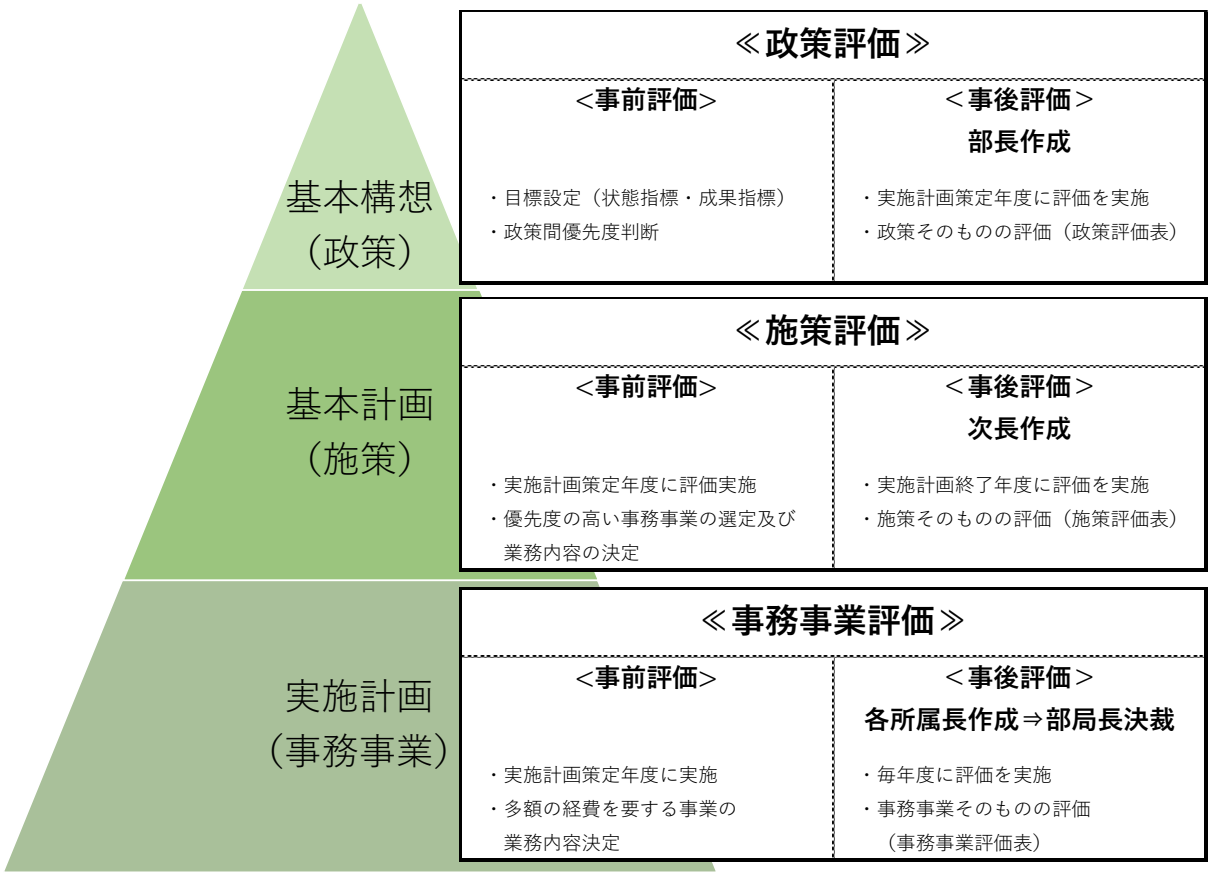
２　行政評価の概要

（１）行政評価の目的

ア　効果的かつ効率的な市政の推進に資すること
イ　行政評価に関する情報を公表すること
ウ　市民に対する説明責任が全うされるようにすること

（２）行政評価の体系

行政評価制度は、事前評価と事後評価に評価時点を分けるとともに、総合基本計画と同様に、「政策評価」「施策評価」「事務事業評価」の３種類に区分して行います。



３　政策評価

（１）評価対象（全１０政策）

「鎌ケ谷市総合基本計画　基本構想」に示された「基本目標」及び「基本構想の実現に向けて」を構成するすべての政策が評価対象です。

政策番号	政策名
1	保健・福祉
2	子育て
3	教育
4	安全
5	環境

政策番号	政策名
6	都市基盤
7	産業
8	生涯学習・文化・スポーツ
9	市民協働・男女共同参画・多文化共生
１０	持続可能な行財政運営

（２）評価結果

市政の透明性、公平性及び健全性を確保する観点から、４つの区分の評価基準に基づき、定量的な評価を実施したところ、次の結果となりました。

評価区分	評価基準　※	政策数
目標達成	１００％	0
相当程度進展あり	５０％～１００％未満	8
進展が大きくない	０％超～　５０％未満	2
進展していない	０％	0
合　計		10

※　各政策における状態指標数を分母とし、達成した状態指標数を分子として算定した割合

（３）今後の方向性

評価結果に基づき、政策等の拡充、維持、縮小をすることにより、限られた財源、人員等の行政資源を有効に配分するため、次の３つの区分の評価基準に基づき、各政策における今後の方向性を決定したところ、次の結果となりました。

評価区分	評価基準	政策数
↑拡充	資源を重点的に配分する	6
→維持	資源の配分量を例年程度とする	4
↓縮小	資源の配分量を例年と比較して減少させる	0
合　計		10

（４）政策ごとの評価結果など

政策評価表の政策ごとの評価結果及び今後の方向性は次のとおりです。
また、政策内施策の優先度判断を行い、「特に重点化する施策」を決定しました。

政策名	評価結果	方向性	特に重点化する施策
保健・福祉	進展が大きくない	↑拡充	高齢者福祉の推進
子育て	相当程度進展あり	↑拡充	保育サービス等の充実
教育	相当程度進展あり	→維持	学校教育の充実
安全	相当程度進展あり	↑拡充	危機管理体制・防災対策の強化
環境	相当程度進展あり	→維持	循環型社会の構築
都市基盤	相当程度進展あり	↑拡充	安全に利用できる道路環境の充実
産業	相当程度進展あり	↑拡充	商工業の振興及び観光施策の充実
生涯学習・文化・スポーツ	進展が大きくない	→維持	生涯学習の推進
市民協働・男女共同参画・多文化共生	相当程度進展あり	→維持	協働及び市民公益活動等の推進
持続可能な行財政運営	相当程度進展あり	↑拡充	財政の健全化及び行財政改革の推進

４　状態指標の達成状況（全６８指標）

すべての状態指標の達成状況について、次の２つの区分の評価基準に基づき評価を実施したところ、次の結果となりました。

達成状況	評価基準	状態指標数	割合
順調に推移している又は基準値と同じ	直近の実績値が基準値（※1）を上回っているもの又は基準値と同じもの	36	53.0%
基準値を下回っている	直近の実績値が基準値を下回っているもの	32（※2）	47.0%
合　計		68	100%

※1　鎌ケ谷市総合基本計画前期基本計画策定時の現状値のこと
※2　３２指標のうち６指標が新型コロナウイルス感染症による影響に伴い下回ったもの

５　今後の取組み

（１）政策評価の改善

政策評価は平成２０年度から本格実施しましたが、令和３年度にスタートした総合基本計画を踏まえ、新たな制度により実施しました。

今後も、政策評価の更なる向上や分かりやすい公表方法について、継続して検討していきます。

（２）評価結果の活用

評価結果は、次の図のとおり資源配分への活用を推進するため、後期基本計画、第２次実施計画、まち・ひと・しごと総合戦略、令和９年度当初予算との連携を強化するとともに、人事評価制度など各部局における活用を推進します。

【行政評価の活用、連携イメージ図】

≪令和８年度行政評価のポイント≫

ア　評価結果に基づく、資源配分（ヒト・モノ・予算等）への活用推進

イ　後期基本計画、第２次実施計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略、令和９年度当初予算との連携強化

ウ　各部局における行政評価の活用推進

【行政評価の活用、連携イメージ図】

